A6809K.exeが処理する入出力ファイルの形式

.asmファイルの形式：テキストファイルで、以下が各行の基本形式。

コメント行形式	＊任意文字列
ラベル無・1行形式	◇アセンブリオペコード◇アセンブリオペランド[：◇アセンブリオペコード◇アセンブリオペランド]
ラベル付・1行形式	ラベル◇アセンブリオペコード◇アセンブリオペランド[：◇アセンブリオペコード◇アセンブリオペランド]
ラベル付・2行形式	ラベル ◇アセンブリオペコード◇アセンブリオペランド[：◇アセンブリオペコード◇アセンブリオペランド]

【注】[ ]部分は省略可、◇は空白1つ以上

.lstファイルの形式：テキストファイルで、以下が各行の形式。

◇通し番号□□(◇数値1)□アドレス□□機械語命令◇ (◇数値2)□.asmファイルの1行

【注】◇は空白1つ以上、□は空白1つ
数値1：各機械語命令の先頭バイトの、先頭アドレスからの変位バイト数
数値2：各.asmファイルの1行の、.asmファイル中の行番号
.asmファイルの1行は、改行または：での区切りによる

.objファイルの形式：テキストファイル(?!)で、以下が全体の形式。

```
@1000[hhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhh]
@1010[hhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhhh]
  ⋮              ⋮
@hhhh[hhhhhhhhhhhhhh]
E
```

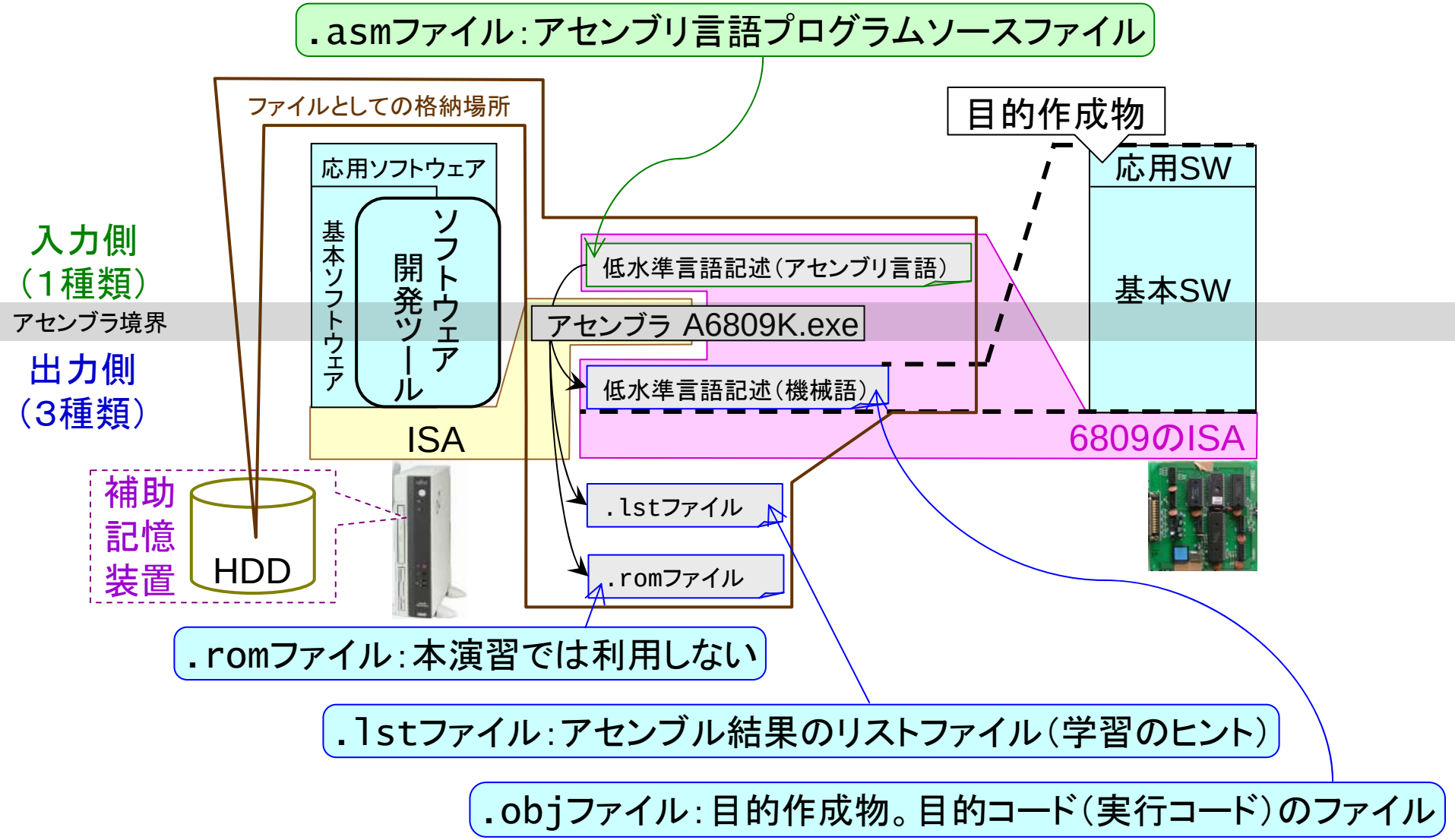
hhは任意の2桁の16進数。
[ ]内は機械語命令列。
h2つで1バイト。一行に最大16バイト。

終端記号

アドレス

末行は、16バイトに満たないことがある。(多くの場合)

A6809K.exe が処理する入出力ファイルの種類



A6809K.exe が処理する入出力ファイルは全4種類であるが、
本演習では.romファイルは利用しないので、実質、3種類のファイルの形式を知ればよい。